

早川ふれあい通信

早川地区まちづくり委員会
広報分科会
2017.1.10 発行 (第2号)

回
覧

<防災分科会より>

防災訓練を実施しました！

10月22日(土)、小田原市いっせい防災訓練に合わせて、早川地区においても、自治会(自主防災組織)、中学生、保育園、小中学校関係者など、総勢270名の方の参加がありました。

今回の訓練が、地域内の共助のための大きな一歩となり、今後も継続されることが地域防災力の強化につながっていくこととなります。

第1部：自治会(自主防災組織)ごとに、津波避難訓練 高台の津波避難場所へ避難



津波の危険がなくなったことを想定し、安否確認訓練 や救出救助訓練を実施



第2部：広域避難所開設訓練

発災後、数時間～数日後を想定し、早川小へ



小学校では、水消火器を使った初期消火訓練や三角巾を使った応急救護訓練を実施



中学生も活躍！ 事前に三角巾の使用法の練習をしてもらい、指導や準備の補助など、地域の方のサポートをしてくれました！



最後に防災グッズの抽選会も行いました！

- 1等 5年保存のアルファ米非常食セット (1名)
- 2等 感震ブレーカー (3名)
- 3等 簡易消火スプレー (10名)

参加賞 エマージェンシーブランケット
どれも発災時に大変役に立つもので、皆さん喜んで持って帰ってくれました！



感震ブレーカーとは？

大きな地震が来ると、自動でブレーカーを落とし、「電気火災」対策のために効果的なものです。

停電した状態から、電気が復旧すると、避難の際に消し忘れたストーブなどから火災が発生する危険があります。

東日本大震災の本震における火災の過半数が電気火災でした。

ホームセンターで購入できますので、感震ブレーカーを設置し、自分の家、地域を守りましょう。



<健康・福祉分科会より>

防災訓練にて、早川地区社会福祉協議会が、ケアタウン推進事業で75歳以上の高齢者に配布している、防災グッズを紹介しました！

助けを求めるときに使用する、ホイッスルを実際に鳴らしてみ、音をみんなに聞いてもらいました。救助の際に役立ちます。

毎年2月に実施している「ふれあい訪問」では、民生委員と在宅福祉サービスチーム(きずなチーム)が協力し、電池や飲料水などの交換を行いながら、話を聞いたりして、顔の見える関係を築いています。



<交通安全・防犯分科会より>

★**自転車も乗れば車の仲間入り!!!**

★**ルールを守り、安全に乗りましょう!!!**

【自転車安全利用5則】

- ① **自転車は、車道が原則、歩道は例外**
自転車に乗って走ることができるのは、この標識がある歩道と、13才未満の子ども、70才以上の方だけです。
- ② **車道は左側を通行**
- ③ **歩道は歩行者優先で、車道よりを徐行**
- ④ **13才未満はヘルメットを着用**
- ⑤ **安全ルールを守る**
 - ・ 飲酒運転禁止
 - ・ 2人乗り禁止
 - ・ 並走禁止
 - ・ 夜間はライトを点灯
 - ・ 信号を守る
 - ・ 交差点での一時停止



<地域交流分科会より>

11月13日(日)、早川体育振興会主催の「第9回グラウンドゴルフ大会」が早川小学校の校庭にて開催されました。この事業は、三世交流を目的に、老人会や子ども会、PTAなどに参加募集の協力をいただき、スクールコミュニティのバックアップもあってここまで継続して来ました。

年々参加率の低迷が懸念されますが、参加者達は楽しくプレーしていますので、まだ体験されていない方は、次回は是非参加してみてください。

ジュニアの部、ミドルの部、シニアの部の各優勝者には、豪華賞品と表彰状が授与されます。



<通信はホームページからも確認できます>

小田原市自治会総連合
ホームページ(早川地区ページ)
<http://odawara-jichisoren.net/section/hayakawa/>



<編集>

早川地区まちづくり委員会・広報分科会

分科会長 富樫栄広

早川地区まちづくり委員会・役員会

委員長 大坪孝寿

副委員長 石川孝史

副委員長・防災分科会長 小倉一己

会計 日下部幸高

監事 国見光範

監事・健康・福祉分科会長 青木祐伸

書記・地域交流分科会長 富樫栄広

書記 相原淳男

理事 浦井康雄

理事 加藤敬典

理事 鈴木健一郎

交通安全・防犯分科会長 鈴木雄一